科目名	担当
教育原論	武内 六十

5月18日 リアクション

A

大学って本当にすっごいお金がかかっているなと思いました。今まで私はあんまり熱心に受けてなかった事を、とても後悔しました。これからはちゃんと、集中し、熱心に、授業に取り組もうと思います。

B

カタツムリは2匹いれば増える オスメス関係なし!!!

初めて聞くことが多く4000円のもともとれたと思う。

C

。予言の自己成就について → 銀行がつぶれる(予言)としたら人々は銀行に行ってお金を引きだす → 結果本当に銀行がつぶれてしまう。/ 現実があるから認識があるということはわかっていたけれど認識があるから現実になるという考え方がおもしろいと思いました。また、言葉の認識は違ってくるということがわかりました。

。生まれてきたときに男だと思って育てられてきた場合 → 思春期に自分が女であると気づく → 生物学的なものにあわせて育っていけば良いと思う。(私たちが〜というべきであると決めつけないで本人の意志に合わせていけば良いと思う。) 生物学(生れ) 社会的(育ち)

。発達課題が達成されていないと不幸になる。達成されているから幸せである。/ ハヴィガーストの発達課題が有名である。またエリクソンの発達課題が有名である。

D

「予言の自己成就」はとても、おもしろい話だと思った。現実ではなにもない状態でもひとたび予言といわれるあたりさわりのない言葉によって現実性をおび時代において現実に変化していきそれが認識になる。まさに人間の普遍的な感情の流れが社会では、このような形になるのかと思った。その認識を反対するものたちが変わりものと言われ、現実を否定していることになるが、ひと昔前ガリレオの地動説もその予言によってできた現実によって異端とされたが実際その地動説はあっていた。つまり予言というのはそこまでの影響をもつことだ。その予言のもつ力をうまく使うことで教育に取り入れられると思った。

また上野千鶴子さんの自然で社会的(育ち)が大切というのも、自分はものすごく納得できるのだが正直、最近は生物学(生れ)のほうが大切なのかなと悩むことがある。

E

復習 「予言の自己成就」

まとめ

(例)。血液型で性格は変わらない

「A型だから〇〇」「B型だから△△」「O型だから□□」etc

深い理解

。「銀行が潰れる」と予言されたらどうみんなはするか?

わかったこと 【結論】「思い込み」って怖いんだよ!!!

。ある子供に才能があると思い込ませる → 成績up.

ジェンダー

生物学的　育てられ方　思春期　自然　【結論】

女 → 男 → 女と発覚 → 女　「生まれ」=「生物学的」、「育ち」=「社会的」

男 → 女 → 男と発覚 → 男　生物学的よりも社会的の方が大切なのでは?

思想者

「エミール」=ルソー、「学校と社会」=デューイ が1番大切

☆「性自認」って??? → 3才くらいの子は自分の性別わかる???

F

言ったことが現実になるでは、昔、日本で信じられていた言霊を思い出しました。

子供にきみはできる子だと言って、実際に子供が頭がよくなることは、心理学の授業でもやりました。「銀行がつぶれる」と言っておおさわぎになったことなど、言葉はとても力を持っていて重要なのだなと思いました。

J

1回の授業料にもとても驚きました。親に感謝しながら勉強を頑張ろうと思いました。本来の性とは違う異性のように社会的に育てれば、本来の性とは関係なくその異性のように育てることもできてしまうのかなと思いました。

カタツムリに性別が無いことは知らなかったので、とても驚きました。

夏目漱石が里子に出されていたことも知らなかったので、とても驚きました。

信んじてほしいのに、信んじてもらえないことは、自分だったらすごくつらいと思います。

性同一しょう害など、自分が思っているのに、他人が認めてくれないなど、アイデンティティーを通せないことは、その人にとってもつらいことだろうなと思いました。

K

血液型で性格が変わるんじゃなくて、こういう性格だと言われて、そうなるというのに、そうかもしれない!! ととても納得する事が出来ました。予言の自己成就の話は、本当におもしろかったです。自分は出来る、周りも自分が出来ると思っているとそれが、ストレスとかにつながらないのかな??と思いました。なんで、産まれた時に、男と女で1間違えてしまったのかすごく疑問です。でも、私的に、育ってきた環境に合わせて、性転換をした方が、良いと思いました。思春期の時までその性で育ってきたのに、とつぜん、男なら女に、女なら男にというのは、無理だと思いました。ハヴィガーストによる発達課題は、とてもすごいと思います。世界共通で、このような事があり、すごいと思いは

L

思いこみってこわいと思いました。心理学の授業で、子どもをどんな子にもえられるという実験で、生まれたての子どもに動物がこわいるという印象をうえつけ、みごとに、動物が嫌いにすることができて、これを良い方向に利用きたらと思いました。

<小学校のまでに学ぶべきこと>

基本的な勉強はもちろんだが、生活面のほうが大切だと思う。

自己中心的な考えをしてはいけない。自分のゴミは自分で片づける。

など、あたりまえのことをあたりまえにやるということが大切だとおもいます。

<高校までに…>

言づかい、目上の人にたいしての接しかた、その場その場で対応できるなど細かいところまで。勉強ももちろんであり、漢字、英語なども学ぶべきことである。

M

占いや、血液型診断など私はとても信じていたけれど、これはマインドコントロールのようなもので、"私はB型だからこの性格なんだ"。と自分で思い込んでしまっているものなんだなということを知りました。生物学的、社会的の話では、生まれよりも育ちが大切ということを学びました。男として生まれても女として育てられれば女として生きてしまうし、生物学な男という事実よりも、社会的な女として育てられたということの方が力が強いということにおどろきを感じました。

N

今日は、前回までのことを思いかえすことができた。セックスとジェンダーについて考えさせられることであった。女として生きてきた男は、男と知らされても女として生きるということがわかった。やはり生まれより育ちというのは本当なんだなぁと思いました。育ちによって性格は変えられると思うし、あきらめたら終わりだと思う。

小学生までに何を学んでもらいたいか。

O

発達課題を大変興味をもって見ることができ、色々学ぶことができた。

発達課題は年齢ごとに学ぶべきことや、身につけておくべきことが書かれている。今、私は19歳なので、壮年期になるらしい。壮年期はまず配偶者の選択、情緒的生活とかいてあった。これは、育児や家庭管理、職業なども含まれており、自立することが大切だと思った。

ほかにも社会的責任の負担、気心のあった社会集団の発見とも書いてあり、大人として立ちふるまい方が大切であると思った。

12歳〜18歳の間の青年期が1番発達課題が多かった。

このころは何も考えずに遊んでばっかだったので、足りない所は、今とりもどす努力をしたいとおもいました。

P

今回の授業で配られたプリントを見て、保育園・幼稚園への入園のあり方や意味を知ることが出来ました。入園するということは、今まで家の中・親の中というくくられた環境の中から社会へ出るということだと思う(子供にとって)し、周りの友達のことを考えながら行動することはこの先成長していくうえで大切なことだと思いました。また、親と離れて過ごすことも、その子どもが成長するためには必要だと思います。

小学校の時代に子どもが学んでおかなければならない課題は、周りの友人との関わり方、先生をはじめとする大人との関わり方をまずは学ぶべきだと思います。先生も友人と同じようにけじめなく関わってしまうのは、よくないことです。そして、除々に社会のルールも学びます。

(小学校卒業後〜中学校在学中)

高校時代までに学んでおかなければならないことは、自分の考えもあるけど、他のみんなにいろいろな考えがあり、自分だけが正しいと思わないことだと思います。自分の考えばかりを押し通してばかりだと、社会に出たときに困ってしまうのではないかと思います。自分の考えを

Q

小学校で学んでおかなければならないことは社会で生活するため必要な最低限の知識だと思う。

具体的には国語で言語、算数で簡単な計算、家庭科で生活のしかた、そして道徳で感情を理解するということであると私は思う。

高校では卒業すればもう自分一人で考え行動していかなければならなくなるので

社会で通用する知識や社会のルール、コミュニケーション能力が必要になってくる。

それらは結局小学校で学んだことの延長線上にあるので小学生時代の学習は大切だと思う。

カタツムリは軟体動物に分類されハマグリやアサリなどの貝に近い動物です。

主食はかれ葉や、ニンジンなどの野菜、またコンクリートを溶かして食べる。雨の日にコンクリートのかべなどにはりついていることが多いのは、この食性のためである。

カタツムリの繁殖は互いの生殖器の一部を交換することで成立する。カタツムリの他にミミズやナメクジなどがこの方法で繁殖するそうです。